
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う
社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への影響等

第1回 緊急調査（単純集計：速報）

令和2年5月1日



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

◆ 緊急調査の概要・対象等 ◆

本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士及び精神保健福祉士養成教育への影響について、学生の学業面への負担やカリキュラム上の問題点等、新型コロナウイルス感染症にかかる文部科学省及び厚生労働省の通知や事務連絡の運用・解釈、実習の実施が不可能となった場合の代替措置の例等の検討及び通知や事務連絡では対応しきれない事項について文部科学省及び厚生労働省に要望等を行うため、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校の教育の現状を把握することを目的に実施した。

◆ 調査方法・対象・期間・回答状況 ◆

■ 調査方法：

令和2年4月22日から4月30日の間、本連盟会員校に対して担当者宛メールで依頼し、インターネット上に設置した回答フォームから回答を得た

■ 調査対象：日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校 269校
複数の課程を有する養成校は、課程数分の回答を依頼した

■ 調査期間：令和2年4月22日～4月30日

■ 回答校数：222校
370課程（社会福祉士228課程／精神保健福祉士142課程）

■ 回答率：82.5%

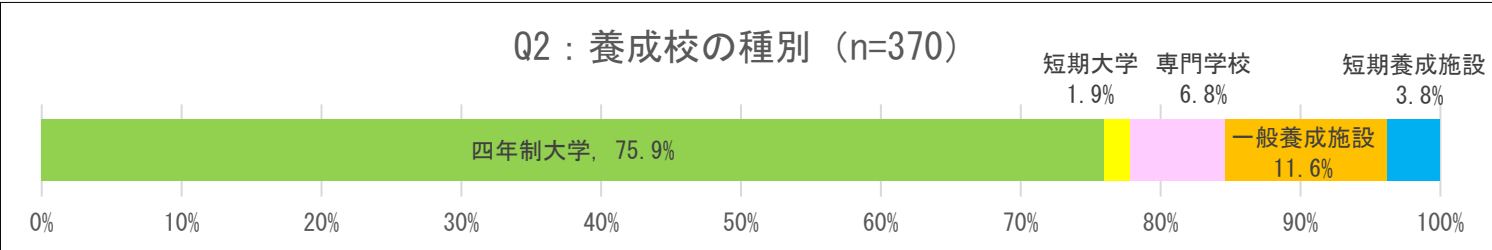
【緊急調査項目】

- 学校名
- 養成校の種別（4大、短大、専門、養成施設）
- 通信・通学の別
- 養成課程の別（社会福祉士／精神保健福祉士）
- 設置学部・学科名
- 回答者氏名
- 回答者役職
- 回答控えを自動送信するメールアドレス
- <遠隔授業について>
- 座学科目
 - ・教材配布・課題の提示の実施状況
 - ・録画配信の実施状況
 - ・ライブ配信の実施状況
- 演習科目
 - ・教材配布と課題の提示の実施状況
 - ・演習科目・録画配信の実施状況
 - ・ライブ配信の実施状況
- 実習指導科目
 - ・教材配布と課題の提示の実施状況
 - ・録画配信の実施状況
 - ・ライブ配信の実施状況
- 遠隔授業実施に際して、学校及び養成課程が既に行った対応（学習環境の調査、学生や教員へのサポート、ツール等）
- 遠隔授業実施に際して、学校及び養成課程の現時点の課題
- 当初、予定していた2020年度の主な実習時期
- 現時点（4月22日～30日の調査期間）の「相談援助実習」及び「精神保健福祉相談援助実習」実施に関する意向
- 2月28日の厚労省・文科省の事務連絡：実習中止の場合「実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして対応して差し支えないこと」（代替措置）とされているが、どのような代替措置を想定しているか
- 学内実習の想定（具体的に）
- その他の想定（具体的に）
- 新型コロナウイルスの影響により2019年度内に予定していた実習が中止になった学生数（概数）
- 2020年度内に実習を予定している学生数（概数）
- うち、2020年度で卒業（修了）予定の学生数（概数）



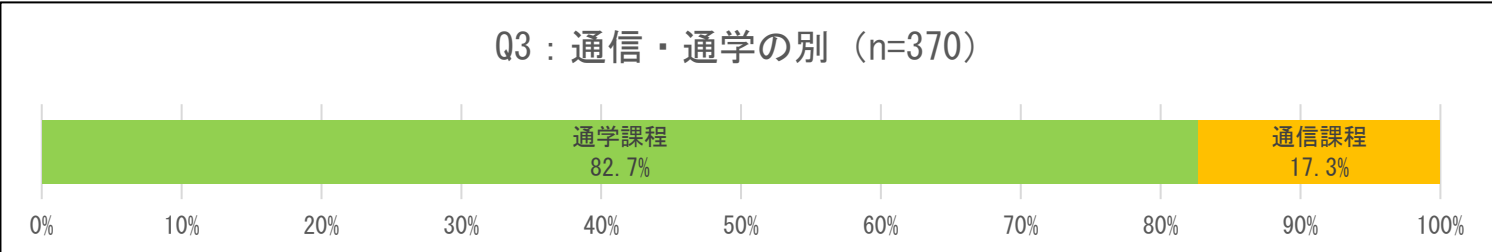
■ 回答した学校の基本属性等

Q 2：養成校種別は、4年制の大学等が75.9%、短大1.9%、一般養成施設11.6%、短期養成施設3.8%であった。



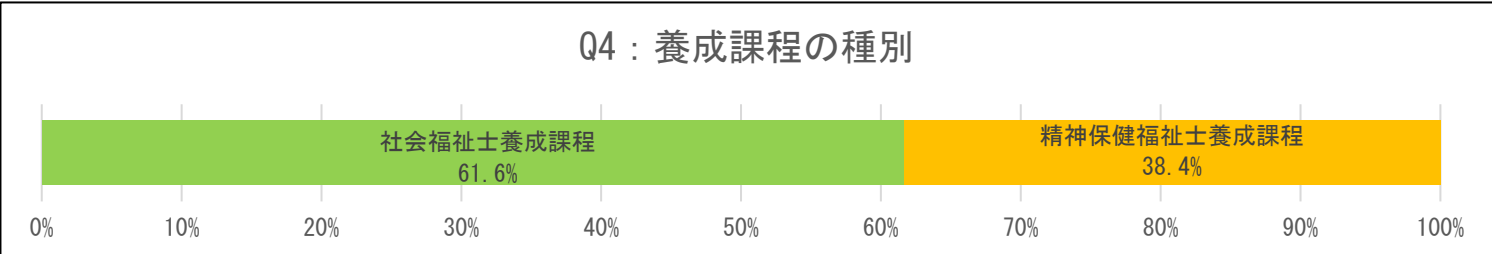
学校種別	度数	%
四年制大学	281	75.9%
短期大学	7	1.9%
専門学校	25	6.8%
一般養成施設	43	11.6%
短期養成施設	14	3.8%
合計	370	100.0

Q 3：通学・通信の別は、通学課程が82.7%、通信課程が17.3%であった。



通学・通信の別	度数	%
通学課程	306	82.7%
通信課程	64	17.3%
合計	370	100.0

Q 4：養成課程の種別は、社会福祉士養成課程が61.6%、精神保健福祉士養成課程が38.4%であった。



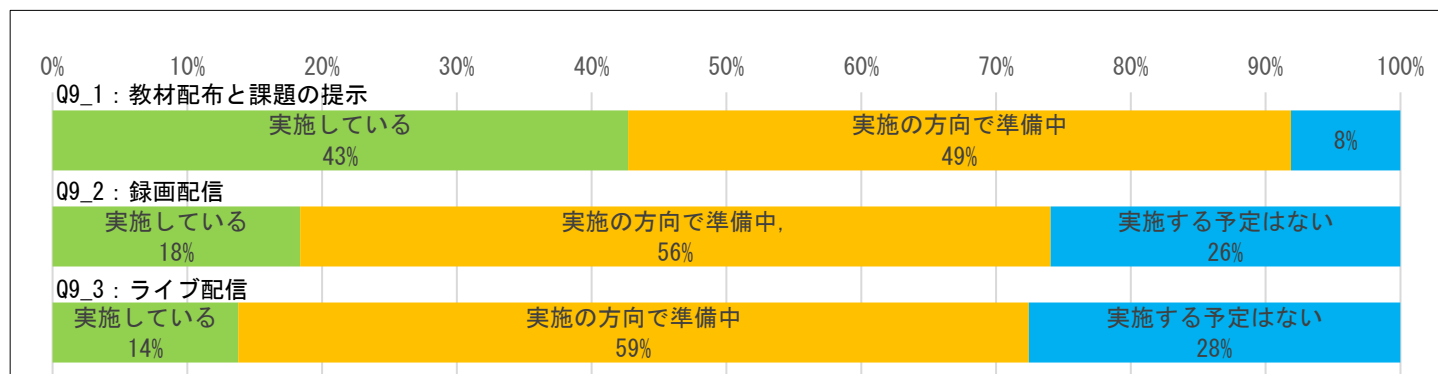
課程種別	度数	%
社会福祉士養成課程	228	61.6%
精神保健福祉士養成課程	142	38.4%
合計	370	100.0

Q 9：遠隔授業の実施状況 ～座学科目

Q9-1「座学科目の教材配布と課題提示」では、既に実施が43%、準備中は49%、実施予定なしが8%で、90%以上が実施もしくは準備中である。

Q9-2「座学科目の録画配信」では、既に実施が18%、準備中は56%、実施予定なしが26%で、実施もしくは準備中は74%である。

Q9-3「座学科目のライブ配信」では、既に実施が14%、準備中は59%、実施予定なしが28%で、実施もしくは準備中は73%である。



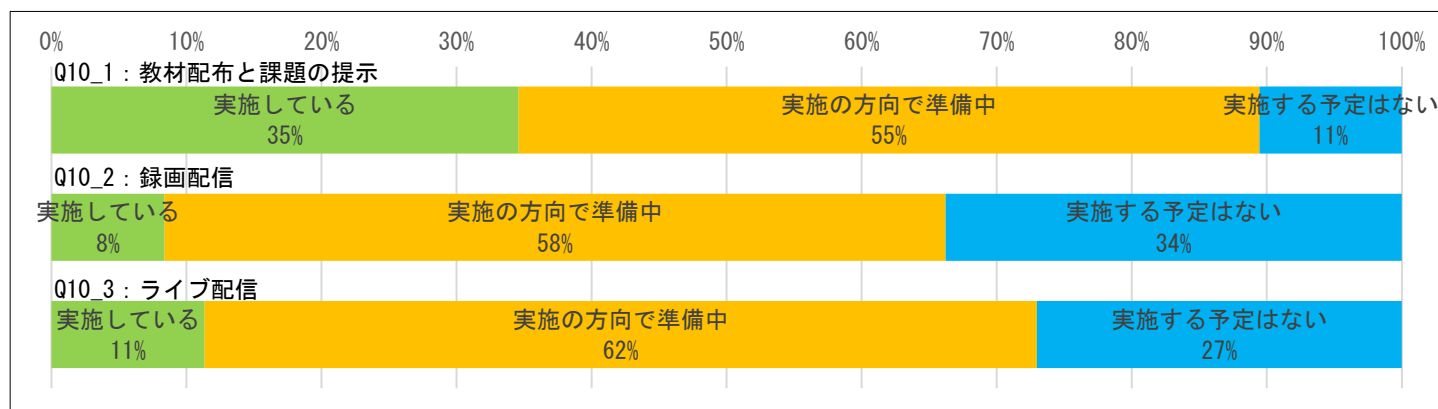
座学科目		実施している	実施の方向で準備中	実施する予定はない	合計
Q9_1 教材・課題	度数	158	182	30	370
	%	43%	49%	8%	100.0
Q9_2 録画配信	度数	68	206	96	370
	%	18%	56%	26%	100.0
Q9_3 ライブ配信	度数	51	217	102	370
	%	14%	59%	28%	100.0

Q10：遠隔授業の実施状況 ～演習科目

Q10-1「演習科目の教材配布と課題提示」では、既に実施が35%、準備中は55%、実施予定なしが11%で、約9割%が実施もしくは準備中である。

Q10-2「演習科目の録画配信」では、既に実施が8%、準備中は58%で、実施予定なしは34%である。

Q10-3「演習科目のライブ配信」では、既に実施が11%、準備中は62%で、実施予定なしが28%である。



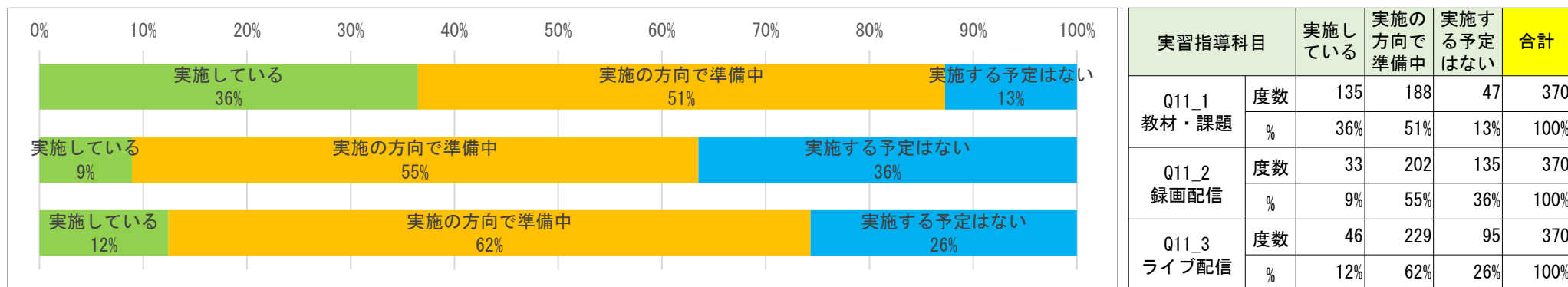
演習科目		実施している	実施の方向で準備中	実施する予定はない	合計
Q10_1 教材・課題	度数	128	203	39	370
	%	35%	55%	11%	100%
Q10_2 録画配信	度数	31	214	125	370
	%	8%	58%	34%	100%
Q10_3 ライブ配信	度数	42	228	100	370
	%	11%	62%	27%	100%

Q11：遠隔授業の実施状況 ～実習指導科目

Q11-1「実習指導科目の教材配布と課題提示」では、既に実施が36%、準備中は51%、実施予定なしが13%である。

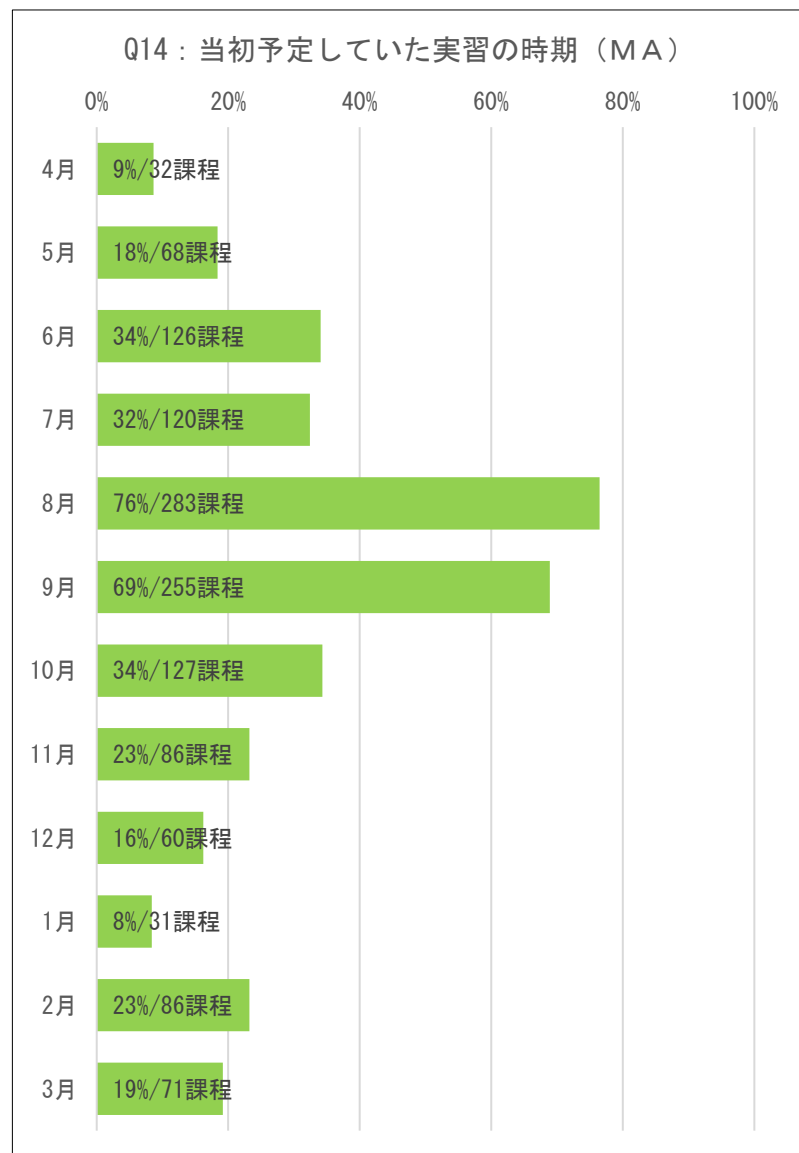
Q11-2「実習指導科目の録画配信」では、既に実施が9%、準備中は55%、実施予定なしが36%である。

Q11-3「実習指導科目のライブ配信」では、既に実施が12%、準備中は62%、実施予定なしが26%である。



- 座学科目・演習科目・実習指導科目とも、教材配布と課題提示を「実施＋実施準備中」の割合が高く9割前後である。
- 演習科目と実習指導科目で録画配信とライブ配信を比べると、演習科目では録画配信を「実施＋実施準備中」が66%、ライブ配信を「実施＋実施準備中」が73%、実習指導科目では、録画配信を「実施＋実施準備中」が64%、ライブ配信を「実施＋実施準備中」が74%となっており、録画配信よりライブ配信を指向する割合がそれぞれ1割ほど高くなっている。

Q14：当初（新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前まで）予定していた実習の時期（MA）



当初予定していた実習時期		該当	非該当	合計
4月	度数	32	338	370
	%	9%	91%	100.0
5月	度数	68	302	370
	%	18%	82%	100.0
6月	度数	126	244	370
	%	34%	66%	100.0
7月	度数	120	250	370
	%	32%	68%	100.0
8月	度数	283	87	370
	%	76%	24%	100.0
9月	度数	255	115	370
	%	69%	31%	100.0
10月	度数	127	243	370
	%	34%	66%	100.0
11月	度数	86	284	370
	%	23%	77%	100.0
12月	度数	60	310	370
	%	16%	84%	100.0
1月	度数	31	339	370
	%	8%	92%	100.0
2月	度数	86	284	370
	%	23%	77%	100.0
3月	度数	71	299	370
	%	19%	81%	100.0

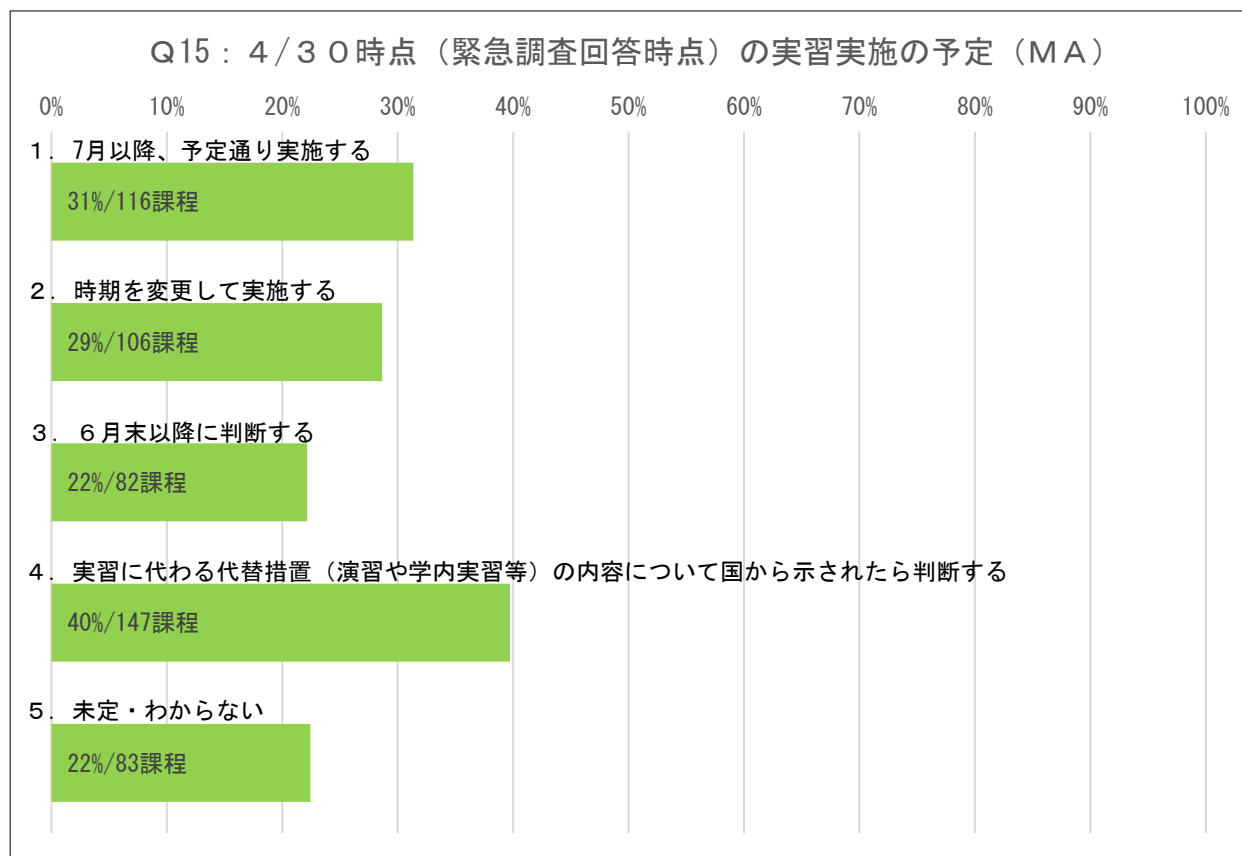
○「当初予定していた実習の時期」は8月に予定していた課程が76%／283課程と最も多く、次いで、9月（69%／255課程）、10月（34%／127課程）、6月（34%／126課程）、7月（32%／120課程）となっており、実習の実施予定時期が夏期をピークに春から秋に集中している。

○ 7割から8割弱の課程が8月と9月の実習実施を予定していた。

○ 4月6日付で本連盟が会員校に対し、実習実施の見合わせをお願いした4月から6月末の間で実習を当初予定していた課程は、4月が32課程（9%）、5月が68課程（18%）、6月が126課程（34%）で、延べ課程数は226課程である。

Q15：4/30時点（緊急調査回答時点）の実習実施の予定（MA）

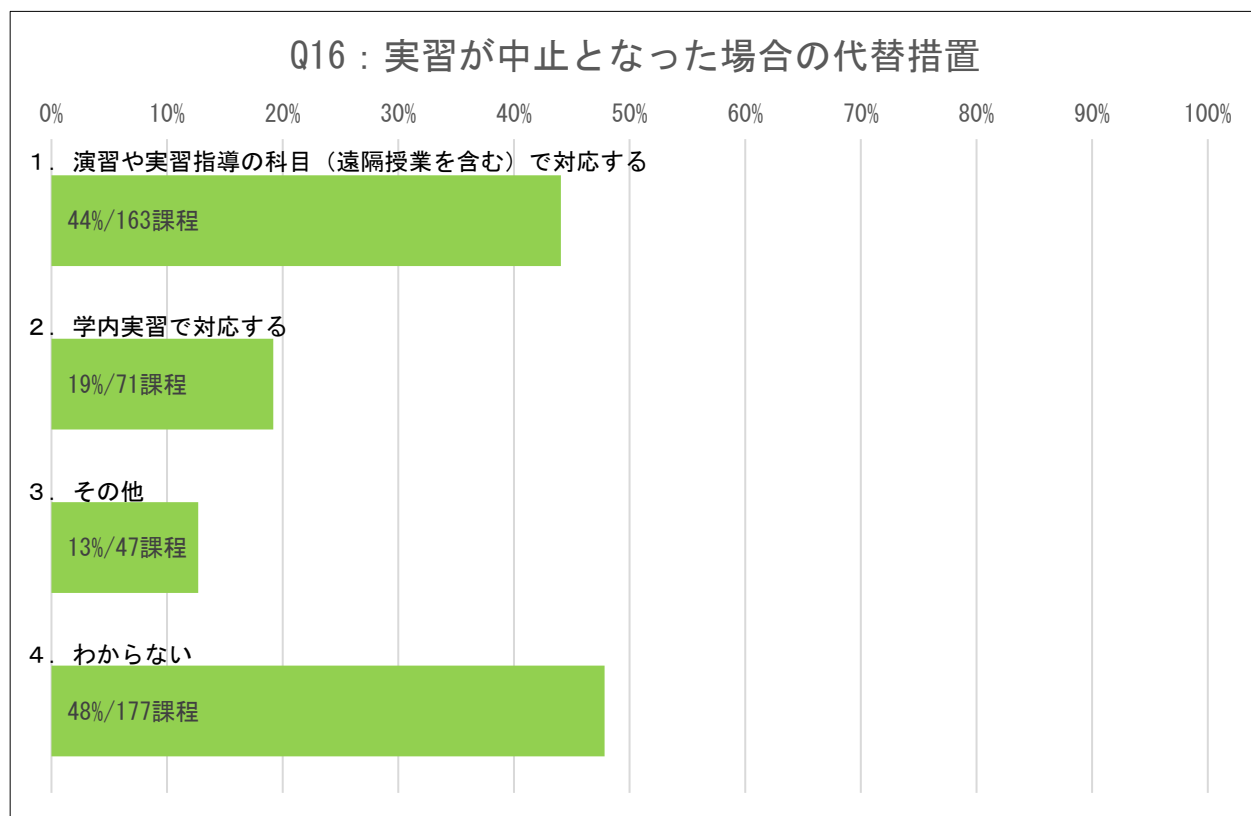
- 4月30日時点における実習実施の予定について聞いたところ、「7月以降、予定通り実施する」は31%（116課程）、「時期を変更して実施する」で、「6月末以降に判断する」は22%（82課程）であった。
- また、実習が中止となった場合に、「実習に代わる代替措置（演習や学内実習等：2月28日付厚労・文科事務連絡による）の内容について国から示されたら判断する」とした課程が40%（147課程）と最も多く、「未定・わからない」と回答した課程は22%（83課程）であった。



4/30時点（緊急調査回答時点）の実習実施の予定		該当	非該当	合計
1. 7月以降、予定通り実施する	度数	116	254	370
	%	31%	69%	100%
2. 時期を変更して実施する	度数	106	264	370
	%	29%	71%	100%
3. 6月末以降に判断する	度数	82	288	370
	%	22%	78%	100%
4. 実習に代わる代替措置（演習や学内実習等）の内容について国から示されたら判断する	度数	147	223	370
	%	40%	60%	100%
5. 未定・わからない	度数	83	287	370
	%	22%	78%	100%

Q16：新型コロナウイルスの影響により実習が中止となった場合の代替措置（MA）

- 2月28日付厚労・文科事務連絡による「実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を習得することとして対応して差し支えないこと」（代替措置）について聞いたところ、48%（177課程）の課程が「わからない」と最も多く回答し、次いで「演習や実習指導の科目（遠隔授業を含む）で対応する」が44%（163課程）、「学内実習で対応する」が19%（71課程）、「その他」が13%（47課程）であった。
- 約半数の課程が実習中止となった場合の「代替措置がわからない」ことが明らかとなった。



Q16：実習が中止となった場合の代替措置		該当	非該当	合計
1. 演習や実習指導の科目（遠隔授業を含む）で対応する	度数	163	207	370
	%	44%	56%	100%
2. 学内実習で対応する	度数	71	299	370
	%	19%	81%	100%
3. その他	度数	47	323	370
	%	13%	87%	100%
4. わからない	度数	177	193	370
	%	48%	52%	100%

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への影響等緊急調査（単純集計・速報）

Q17：2019年度内に予定していた実習が中止になった学生数（概数）

- 2019年度内に予定していた実習が中止になった学生数（概数）を聞いたところ、2019年度内に実習が中止となった学生がいない（0人）と回答した課程は83%（306課程）であった。一方、10人以上実習が中止と回答した課程は4%（8課程）あり、10～20名中止が7課程、30～40名中止が6課程、60名中止が1課程、109名中止が1課程であった。
- 2019年度内に実習が中止となった学生の合計は594名であった。

2019年度内に実習中止学生数（課程毎） (A)	課程回答数 (B)	%	2019年度内に実習が中止となった学生数 (A) × (B)
0	306	83%	0
1	23	6%	23
2	10	3%	20
3	3	1%	9
4	4	1%	16
5	2	1%	10
6	1	0%	6
7	1	0%	7
8	2	1%	16
9	4	1%	36
10	4	1%	40
17	1	0%	17
20	2	1%	40
30	1	0%	30
35	1	0%	35
40	3	1%	120
60	1	0%	60
109	1	0%	109
合計	370	100%	594

Q18：2020年度内に実習を予定している学生数（概数）

- 2020年度内に実習を予定している学生数（概数）では、50名以上予定している課程は80課程（22%）あり、最大では656名予定している課程が1校あった。
- 各課程の学生数を合計すると、2020年度内に実習を予定している学生数（概数）の総数は、12,645名であった。

Q18-2：2020年度内に実習を予定している学生数（概数）のうち、2020年度で卒業（修了）予定（卒業年次）の学生数

- Q18で回答した2020年度内に実習を予定している学生数（概数）のうち、2020年度で卒業（修了）予定（卒業年次）の学生数を聞いたところ、2020年度が卒業年次で実習を予定している学生数（概数）の総数は、7,473名であった。
- 2020年度内に実習を予定している学生のうち、約6割が卒業年次の学生であった。



日本ソーシャルワーク教育学校連盟

**【緊急調査】
新型コロナウイルスの感染拡大による社会福祉
士・
精神保健福祉士教育への影響について**

○資格の課程(確認申請毎の社会福祉士と精神保健福祉士の別)ごとに回答してください。

○回答期限:2020年4月30日(木) **正午迄**

○基本属性

会員校名(校名のみ) 必須

例:●●大学、●●専門学校

養成校の種別 必須

通信・通学の別 必須

-----▼

養成課程の別 必須

-----▼

設置学部・学科名 必須

回答者氏名 必須

回答者役職 必須

回答控えを自動送信するメールアドレス

○座学科目の遠隔授業の実施・準備状況をお答えください。

遠隔授業(座学科目の教材配布と課題の提示)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(座学科目の講義科目・録画配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(座学科目の講義科目・ライブ配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
 - ☐ 2. 実施の方向で準備中
 - ☐ 3. 実施する予定はない
-

○演習科目の遠隔授業の実施・準備状況をお答えください。

遠隔授業(演習科目の教材配布と課題の提示)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(演習科目・録画配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(演習科目・ライブ配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
 - ☐ 2. 実施の方向で準備中
 - ☐ 3. 実施する予定はない
-

○実習指導科目の遠隔授業の実施・準備状況をお答えください。

遠隔授業(実習指導科目の教材配布と課題の提示)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(実習指導科目・録画配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業(実習指導科目・ライブ配信)の実施状況 必須

- ☐ 1. 実施している
- ☐ 2. 実施の方向で準備中
- ☐ 3. 実施する予定はない

遠隔授業実施に際して、学校及び養成課程が既に行った対応(学習環境の調査、学生や教員へのサポート、ツール等)についてお答えください

自由記述

遠隔授業実施に際して、学校及び養成課程の現時点の課題をお答えください

自由記述

当初、予定していた2020年度の主な実習時期をお答えください 必須

- ☐ 4月
- ☐ 5月
- ☐ 6月
- ☐ 7月
- ☐ 8月
- ☐ 9月
- ☐ 10月
- ☐ 11月
- ☐ 12月
- ☐ 1月
- ☐ 2月
- ☐ 3月

主に実習を予定していた時期の月にチェックを入れてください

現時点の「相談援助実習」及び「精神保健福祉相談援助実習」の予定について、お答えください 必須

- ☐ 1. 7月以降の予定通り実施する
- ☐ 2. 時期を変更して実施する
- ☐ 3. 6月末以降に判断する

- ☐ 4. 実習に代わる代替措置（演習や学内実習等）の内容について国から示されたら判断する
- ☐ 5. 未定・わからない

2月28日の厚労省・文科省の事務連絡では、実習中止の場合、「実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして対応して差し支えないこと」（代替措置）とされておりますが、どのような代替措置を想定していますか 必須

- ☐ 1. 演習や実習指導の科目（遠隔授業を含む）で対応する
- ☐ 2. 学内実習で対応する
- ☐ 3. その他
- ☐ 4. わからない

＊事務連絡とは、厚生労働省・文部科学省「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」（令和2年2月28日）[リンク](#)を指す。

○相談援助実習・精神保健福祉相談援助の中止した学生数について

新型コロナウイルスの影響により2019年度内に予定していた実習が中止になった学生数(概数)を教えてください 必須

名

2020年1月～3月の実習期間を指します

2020年度内に実習を予定している学生数(概数)を教えてください 必須

名

うち、2020年度で卒業(修了)予定の学生数(概数)を教えてください 必須

名